

# 高原山ものがたり①

ふるさとの山に向ひて  
言ふことなし  
ふるさとの山は  
ありがたきかな

これは、ご存知の通り  
啄木の詠んだ歌です。そ  
れでは、この「山」を  
「高原山」と置き換えて  
読んでみましょう。高原  
山は、矢板市にあり、高  
原山は、矢板市にあり、  
民にとつてまさに心の  
ふるさと、心のよりどころ  
なのです。

しかし、この高原山も  
果たしてどのくらい理解  
されているでしょうか。  
例えは

- ①高原山はいつごろ誕生したのか
  - ②活火山であること
  - ③黒曜石の産出地であること
  - ④山岳仏教のメッカであったこと
  - ⑤明治の博文豪である与謝野晶子夫妻が絶賛し歌を詠んでいること
  - ⑥小学校が建てられていること
- などなど、魅力たっぷりな山なのです。また、呼び名も「たかはらさん」派と「たかはらやま」派の二つに分かれているようです。
- そんな高原山を、今回から六回にわたり紹介していきます。

まず第一回目は、高原山の概要を地学的に紹介していきます。

■優美な裾野を持つこの山の形は、成層火山と呼ばれています。あの富士山がその代表です。

■高原山という山頂はありません。釈迦ヶ岳や鶏頂山、それに剣ヶ峰や前黒山など複数の山を総称して呼ばれています。

■最高峰は、釈迦ヶ岳（一七九五メートル）で、山頂には一等三角点が置かれています。ただし、ここは矢板市ではなく、日光市・那須塩原市それに塩谷町にまたがっています。

■高原山の範囲は、東西・南北約十六キロメートルに及んでいます。

■今から約五千万年前に始まった大規模な火山活動によって、まず前黒山や明神岳が形成され、次いで噴火活動は南へ移り、



釈迦ヶ岳や鶏頂山が形成されました。現在のような山容になったのは、十数年前と伝えられています。

■新湯温泉では、今でも盛んに噴火活動を続けていることから、活火山に追加されました。

## 記者の矢板おすすめスポット!

### 長峰公園から眺める高原山

春は桜やツツジの花を中心に季節折々に市民を楽しませてくれる長峰公園。南側駐車場から階段を上った小高い丘の頂上にシンボルタワーが立っています。その上からは矢板市の大部分が見渡せ、多くの市民がここからの景色を楽しんでいます。

くれているように感じます。もちろん、これは毎日ではなく、空気が澄んだ天気の良い朝と夕方にだけ見ることのできる光景です。

花越しに眺める高原山もよいですが、特に山の頂に雪が冠っている冬の時期、朝の清々しい空気の中でだんだんとピンク色や朱色に染まって美しく化粧する高原山が気に入っています。

今回私がおすすめするスポットは、この頂上から見る高原山です。北西方面に目を向けると、高原山の雄大な峰々が見えます。朝は東から上った太陽に照らされ、ピンク色に染められる高原山が、そして、夕方には西の日光の山々に沈みゆく太陽で朱色に染められた高原山が私に元気を与えてくれます。



### 安沢から見る高原山の景色

安沢の社から見る高原山を表現力豊かに書き綴ったことだけばれています。そのいくつかの山塊をつくる中では、五番目に高い剣ヶ峰であるが、そのパラマは他の山並みにも負けじと素晴らしい光景をつくっている。

高原山は、そんな魅力ある山であり、大気中の現象により、緑色から黒褐色にも変化する風景も私は好きです。

展望に適している六〇八月が一番美しい。そして、季節に見る高原山の峰々は、私たちの心に清涼剤となっている。鬼籍に入る文人も



(編集後記) 6月を迎え、野山も水田も緑が濃くなり、ピカピカの一年生もランドセルが背中に馴染んできたことでしょう。年6回発行のやいた応援かわら版は、市民に一番身近な矢板のあれこれを記事にします。ぜひ紙面に載せてほしい個人や団体の話題やかわら版への感想など、お待ちしております。(M・K)